

49 4

54

-4.5m

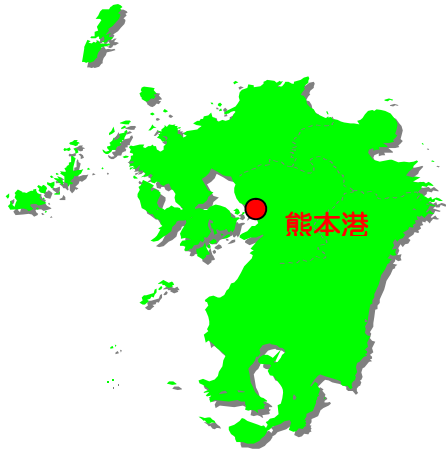
-5.5m

(-7.5m)

5

11 7

100



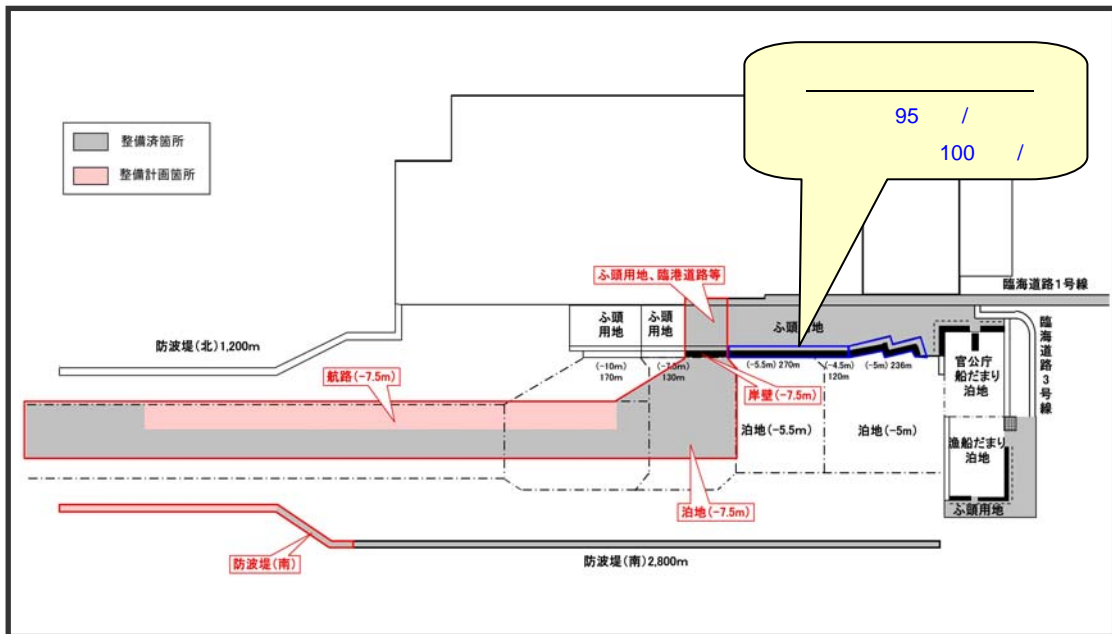
5 3

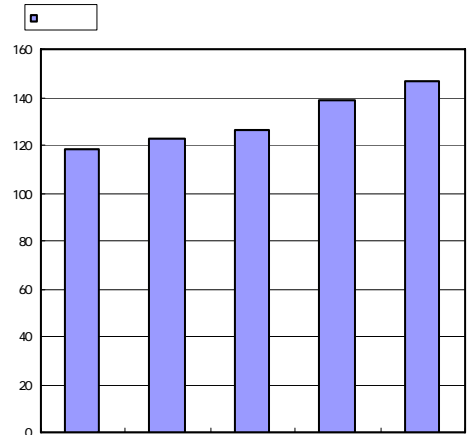
-7.5m
62 11
(-7.5m)

25



(-7.5m)






(-7.5m)

豆腐工場(西原村)が来月稼働

マルキン食品 薬園工場は閉鎖へ



6月から稼働を始めるマルキン食品の阿蘇工場。急ピッチで工事が進む西原村

マルキン食品(熊本)は6月上旬、阿蘇郡西原村で新たに建設中の豆腐工場(西原村)の稼働を始める。納豆製造が主力の同社は、同社が1997年に参入、消費者の健康志向も追い風となり、販売量も伸びている。

豆腐工場は閉鎖する。新工場は、西原村(阿蘇市)から、同村の島子薬園地区にある旧工場跡を改装。昨年末から改装を手掛けていた。飯塚部 三好盛子

H17.5.21

中国向けにリサイクル原料の輸出が増加

リサイクル業の有価物回収協業組合石坂グループ(熊本市戸島町、石坂孝光理事長)は、熊本港を利用し、中国向けに年間約6千トンのダンボール古紙を輸出している。「近年、輸出量は膨大

に増えている。また中国の古紙の回収システムは確立していないため、今後増える可能性は十分にある。県内の荷物でも、あるためできるだけ熊本港の利用を考えたい」と石坂理事長は熊本港の利用を進める。

現在、熊本港で月に40万トンコンテナで約20本を輸出。熊本港で輸出する古紙はダンボール

などのリサイクル原料として中国の製紙工場向けに輸出されている。一方で、その他の紙類は博多港などを利用し、5千〜6千トンを輸出している。「県内の荷物はできる限り熊本港を利用したいと考えているが、どうしても輸出に必要な空コンテナが足りない状況。貨物があっても熊本港から出せないのが実情」と打ち明ける。

同社が通常、輸出に使うのは40万トンコンテナ。以前は牧草などの輸入で使われていたが、現在は熊本港で輸入されるコンテナは20万トンコンテナが多く、輸出入のバランスがとれない状況という。

「熊本港の輸出を増やすためには、まずは大口の輸入も必要ではないか。輸出人のバランスな

ども捉えたポイントセラーや利用企業同士の情報交換などができれば、全体として利用がしやすくなるのではないだろうか」と石坂理事長は語る。

またリサイクル原料の中国向けの輸出は今後もますます拡大すると見ている。「われわれリサイクル事業者にとっても中国は欠かせない市場」と捉える石坂理事長。

「日本国内での古紙などのリサイクル原料は供給過剰に近いが、市場も大きな中国には製紙メーカーや日本のリサイクル業者の進出は続くと思える。日本国内に製品される。日本国内に製品原料を中国に供給するようになる時が来る。貨物は十分にあるため地方港としての活用を今後考慮しながら、熊本港の利用も

81 くまもと経済 H17.9

中国への工場進出に合わせ熊本港利用

中国での新たな事業展開を機に熊本港の利用を始めるケースもある。

(株)関熊本製造所(上益城郡益城町)は昨年10月頃から熊本港の利用を始めた。中国の常州に昨年3月、イセキ農機の関連会社でコンパインを製造するノックダウン工場が進出。熊本製造所では

コンパインの部品やユニットタイプの供給が開通することになった。そこから熊本港の利用をスタートした。

同社の鈴木幹夫専務取締役管理部長は「熊本港以外にもコストなどを考えていくつかの港を検討したが、陸送距離が短縮できる熊本港を選択した。結果的にコスト削減にはつながっている」と、熊本港の利用を選択したのは陸送コストの削減が中国仕様に変えて輸出している。また昨秋頃からコンテナに積める大きさのものは韓国向けの完成品の輸出も熊本港からの利用も始めた。

中国市場について鈴木専務は「今後、エテラを因ついでいくに伴って製品の供給量も拡大することを期待している」。

またコンパインの市場については「総需要は横ばい。耐久性が一番でコストの面で他社とも含めて中国はいよいよこれから拡大していく」と期待している。

今後、熊本港の利用に

ついても「陸送コストの削減効果は十分にあるため、できる限り熊本港の利用は考えていきたい。将来的には常州の工場からの輸入なども考えられれば」と話している。

熊本港貨物3年ぶり増

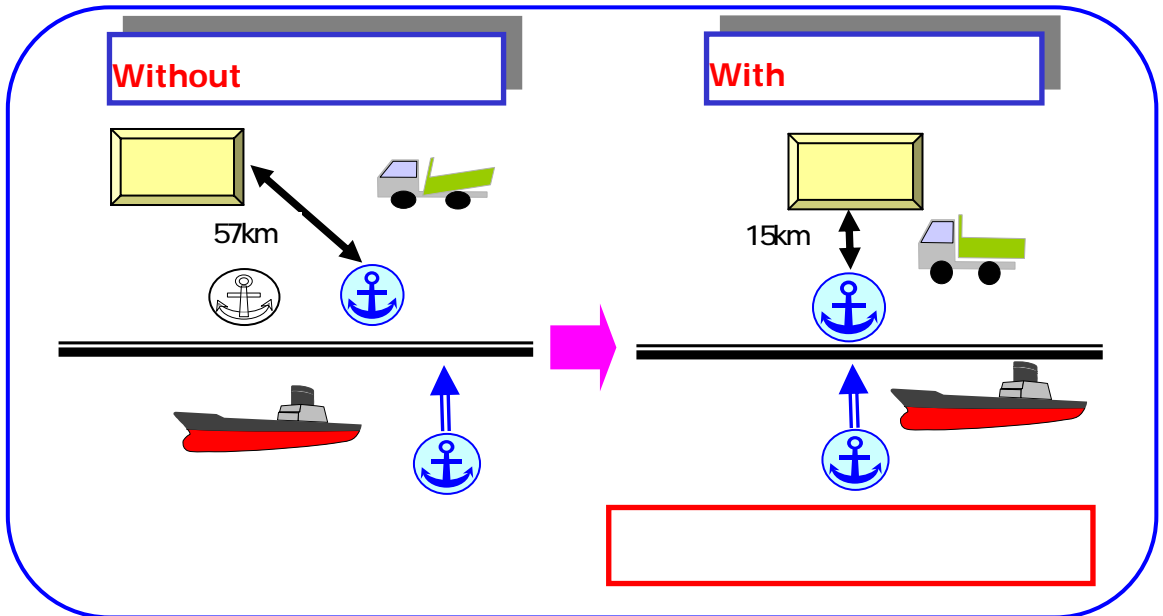
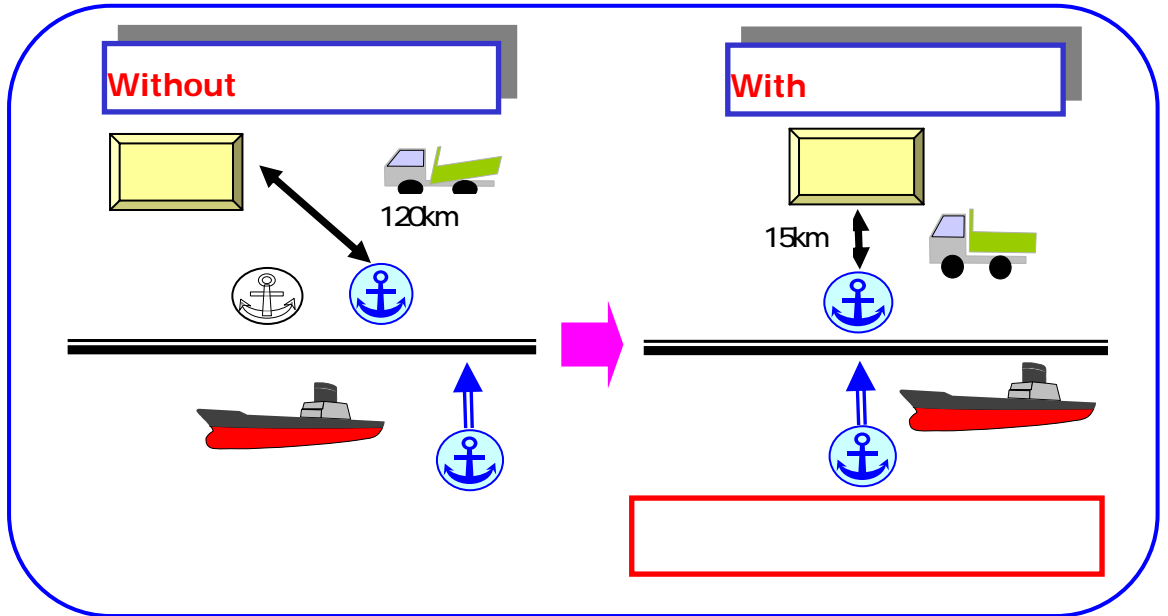
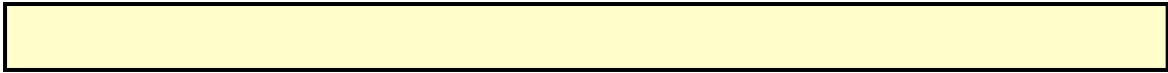
中国向け古紙輸出伸びる 04年取扱量

熊本市の古紙の輸出は、04年取扱量は、03年取扱量より伸びた。04年取扱量は、03年取扱量より伸びた。04年取扱量は、03年取扱量より伸びた。

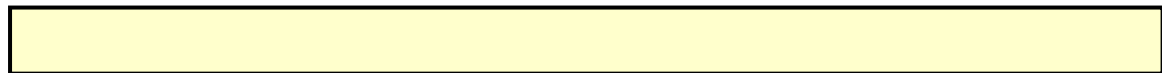
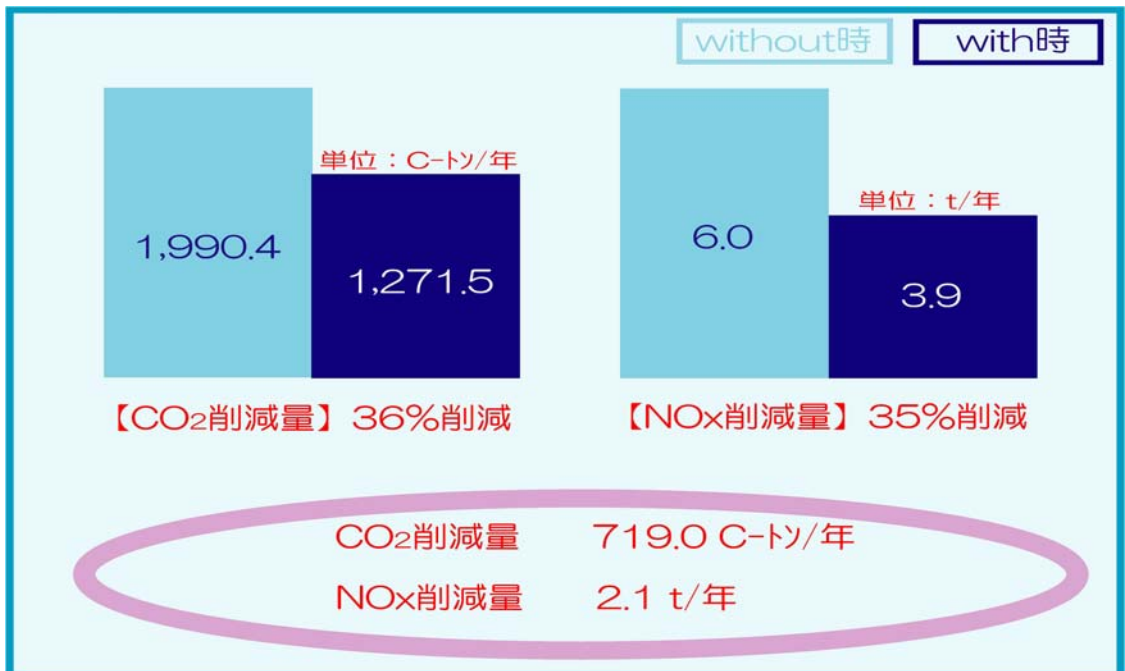
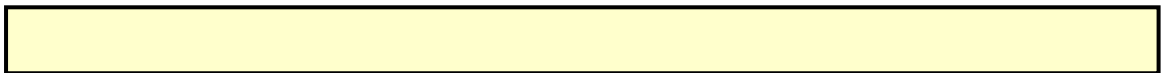
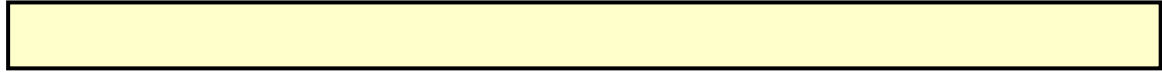
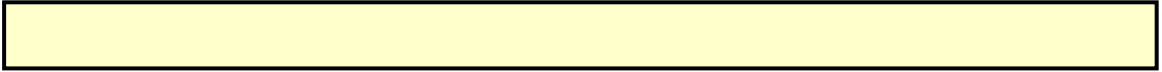
熊本市の古紙の輸出は、04年取扱量は、03年取扱量より伸びた。04年取扱量は、03年取扱量より伸びた。04年取扱量は、03年取扱量より伸びた。

熊本市の古紙の輸出は、04年取扱量は、03年取扱量より伸びた。04年取扱量は、03年取扱量より伸びた。04年取扱量は、03年取扱量より伸びた。

H17.6.7



		(17)
	139 /	2928



			(17)

			(17)

		(17)

		(17)

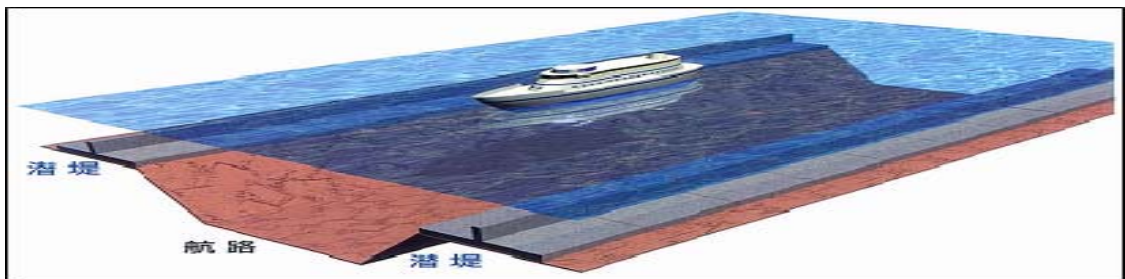
	/
--	---

	/
--	---

62		121
	- 7.5m	
5	- 7.5m	
11	(- 7.5m)	

	H17d	
213	164	77%

17 1	
16 11	



()

2004 16 10 16 6 ()

$$() \sum_{t=1}^T Bt/(1+i)^t - \sum_{t=1}^T Ct/(1+i)^t$$

$$\sum_{t=1}^T \{Bt/(1+i)^t - Ct/(1+i)^t\}$$

$$\sum_{t=1}^T \{(Bt - Ct)/(1+i)^t\} \quad i$$

() i
4.0%

50

1

()

15

With Without

2

-

		(H17)
	9.8	229.2
	4.1	63.6
	13.9	292.8

50

-

		(H17)
	9.2	0.9
	1.8	0.2
	1.6	0.2
	12.7	1.3

43,917 n2

1-I/L x 9/10 A

I

L

A

3

()

25

50

4

0.5%

(-7.5)	243.0		5.3	248.4
		7.2		7.2
	243.0	7.2	5.3	255.6

5

(-7.5m)

	()	()	()	(NPV)	(EIRR)
(-7.5)	294.1	255.6	1.2	38.5	4.6%

		()	719 - /
		(NOx)	2 1t/

3

1 WTH () WITHOUT

WITHOUT

2

		()	()	()	(NPV)	(EIRR)
(-7.5)		294.1	255.6	1.2	38.5	4.6%
		164.2	201.8			
		129.9	53.8	2.4	75.4	9.8

4.

	± 10%
	± 10%
	± 10%

		10	10	10	10	10	10
	294	320	269	294	294	290	299
	256	256	256	260	252	255	256
	202	202	202	202	202	202	202
	54	54	54	58	50	53	54
	2013	2013	2013	2013	2013	2014	2012
B/C	1.2	1.3	1.1	1.1	1.2	1.1	1.2
NPV	39	64	13	34	43	35	43
EI RR	4.6	5.0	4.2	4.6	4.7	4.5	4.7

		10	10	10	10	10	10
	130	142	116	129	129	124	134
	54	54	54	58	50	53	54
	0	0	0	0	0	0	0
	54	54	54	58	50	53	54
	2013	2013	2013	2013	2013	2014	2012
B/C	2.4	2.6	2.2	2.2	2.6	2.4	2.5
NPV	75	88	62	71	80	72	80
EI RR	9.8	10.5	9.0	9.1	10.5	9.4	10.5

H17